



平成 26 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 シード平和株式会社
代表者名 代表取締役 小池 信三
(J A S D A Q ・ コード 1 7 3 9)
問合せ先 取締役管理技術本部長 谷口 茂雄
(T E L : 0 7 5 - 5 9 5 - 1 3 1 1)

子会社の吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）の発生及び 業績予想の修正並びに通期業績予想に関するお知らせ

当社は、平成26年5月16日に「当社と連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、平成26年7月1日付で当社の100%子会社（平和建設株式会社）を吸収合併いたしました。この結果、当社の個別財務諸表において「抱合せ株式消滅差益」が特別利益として計上されるため、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年6月期第2四半期累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）、平成27年6月期第4四半期累計期間（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績予想の修正及び平成27年6月期通期（平成26年4月1日～平成27年6月30日）の業績予想を下記のとおりお知らせいたします。

記

① 特別利益の発生について

1. 内容

合併効力発生日（平成26年7月1日）において、被合併会社である平和建設株式会社から受け入れた純資産と、当社が所有する同社株式（抱合せ株式）の帳簿価額との差額を「抱合せ株式消滅差益」として特別利益に計上いたします。

(1) 抱合せ株式消滅差益：51,431千円

(2) 発 生 日：平成26年7月1日

2. 平成27年6月期の業績に与える影響

平成27年6月期において特別利益（抱合せ株式消滅差益）51,431千円を計上いたします。

② 業績予想数値の修正について

平成27年6月期第2四半期累計期間の業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,538	△1	△17	△17	△13.41
今回修正予想 (B)	2,565	58	44	89	70.60
増減額 (B-A)	△972	60	61	106	
増減率 (%)	△27.5%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	百万円 1,747	百万円 △65	百万円 △75	百万円 △75	円 銭 △60.77

(注) 当社は連結子会社であった平和建設株式会社を平成26年7月1日付で吸収合併したため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。また、当期は決算期の変更（3月31日から6月30日）に伴い、平成26年4月1日から平成27年6月30日までの15ヶ月の変則決算となります。それに伴い、上記の前回発表予想は、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期連結業績予想の第2四半期（累計）の数字を、前期第2四半期実績（平成26年3月期第2四半期）は、平成26年3月期第2四半期連結累計期間の数字を記載しております。

平成27年6月期第4四半期累計期間の業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,011	161	131	131	103.31
今回修正予想 (B)	6,956	161	131	165	130.51
増減額 (B-A)	△1,054	△0	△0	34	
増減率 (%)	△13.2%	△0.0%	△0.0%	26.2%	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	百万円 5,142	百万円 104	百万円 84	百万円 56	円 銭 44.95

(注) 当社は連結子会社であった平和建設株式会社を平成26年7月1日付で吸収合併したため、当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。また、当期は決算期の変更（3月31日から6月30日）に伴い、平成26年4月1日から平成27年6月30日までの15ヶ月の変則決算となります。それに伴い、上記の前回発表予想は、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期連結業績予想の通期の数字を、前期実績（平成26年3月期）は、平成26年3月期通期（連結）の数字を記載しております。

「業績予想修正の理由」

(1) 第2四半期累計期間

当社は、厳しい受注競争を強いられる中、売上高が当初予想を下回る見込みですが、原価管理及び施工監理の徹底、固定費圧縮等の諸経費削減に取り組むと同時に、平成26年7月1日付で100%子会社（平和建設株式会社）を吸収合併し、さらなるコスト削減、業務の効率化・合理化を図り利益の改善を図ってまいりました。その結果、第2四半期累計期間では建設事業において利益率が改善となっただけでなく、合併による削減効果等により販売費及び一般管理費においても一定の効果が出ましたので、営業利益、経常利益、四半期純利益は、当初予想を上回る見込みです。

なお、効力発生日（平成26年7月1日）において、被合併会社である平和建設株式会社から受け入れた純資産と、当社が所有する同株式の帳簿価額との差額を「抱合せ株式消滅差益」として、特別利益51,431千円を計上しております。

(2) 第4四半期累計期間

上記のとおり、利益率の改善や販売費及び一般管理費の削減などに加え、平和建設株式会社の吸収合併による特別利益（抱合せ株式消滅差益）を計上しておりますが、依然として建設業界における熾烈な受注競争並びに技術者・労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コスト等の上昇は厳しいものとなっております。引き続き原価管理及び施工監理の徹底、固定費圧縮等の諸経費削減等の課題に取り組んでまいりますが、完成工期の遅れなどの理由もあり、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想を上回る見込みですが、売上高は当初予想を下回る見込みです。

③ 平成27年6月期通期の業績予想について

当期は決算期の変更（3月31日から6月30日）に伴い、平成26年4月1日から平成27年6月30日までの15ヶ月の変則決算となります。平成27年6月期通期につきましては精査中でしたが、見通しがたちましたので、数値を開示いたします。

平成27年6月期通期業績予想（平成26年4月1日～平成27年6月30日）

（％は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,024	—	175	—	135	—	169	—	133.37

（注）当期は決算期の変更（3月31日から6月30日）に伴い、平成26年4月1日から平成27年6月30日までの15ヶ月の変則決算となります。そのため、前期との比較は行っておりません。

(注記事項)

本資料に記載しております予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上